

「品格あるくまもと」創りと九州新幹線全線開業

ご挨拶申し上げます前に、このたびの東日本大震災で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

熊本県では、被災地への人的支援や被災者の受入支援を中心に力を注いでいます。本県独自の支援としても、被災された農家の方への熊本県内での就農機会の提供や、仙台市の仮設住宅エリアの一角で、被災された方々に安らげる空間を提供する「みんなの家」建設プロジェクトに取り組んでいます。被災地の状況は、時間の経過とともに日々変化していますが、今後も被災地のニーズを的確に把握しながら、職員の派遣など息の長い支援を続けて参ります。

1. はじめに

熊本県は、阿蘇や天草など山あり海ありの豊かな自然や美しい景観を有し、全国最多の名水百選など清らかでおいしい水や豊富な温泉に恵まれるとともに、多彩な農林水産物や熊本城をはじめとした数々の歴史・文化が育まれているなど、魅力ある宝にあふれています。

今年3月には、念願の九州新幹線が全線開業しました。これにより、関西エリアが日帰り圏内となるなど人の動きや商圈がダイナミックに変わることとなりました。また、来年4月には、熊本市が政令指定都市に移行することとなっています。

全線開業と政令市移行は、熊本が今以上に飛躍し、そしてその先の道州制における州都熊本の実現という夢に向かって踏み出す、百年に一度とも

いべきビッグチャンスと考えています。そのため、県政運営の基本方針である「くまもと夢4カ年戦略」のもと、全線開業を見据えた「新幹線くまもと創り」や、熊本の魅力を全国に発信する「新幹線元年戦略」に取り組んでいます。

2. 品格あるくまもと

「くまもと夢4カ年戦略」に掲げる「くまもとの夢」とは、県民の幸福量を最大化し、県民の誰もが、「生まれてよかった、住んでよかった、これからもずっと住み続けたい」と思える、熊本を実現することです。ここには、夢や品格など貨幣には換えられない価値観を大事にする県政をめざす思いを込めています。

「くまもとの夢」の実現に向けて、稼げる県をめざす「経済上昇くまもと」、長寿を恐れない社会をめざす「長寿安心くまもと」、誇りと愛着をもてる「品格あるくまもと」、子どもの笑顔があふれる社会をめざす「人が輝くくまもと」の4つの分野で取り組んでいます。

百年に一度ともいべきビッグチャンスを最大限に生かし、将来の州都実現をめざすうえで、県民の誰もが熊本に誇りと愛着を持てる「品格あるくまもと」創りが大切だと考えています。そのため、美しく良好な環境を保全し創造することが重要であり、熊本の豊かな地下水や阿蘇の草原などの「自然」と、長きにわたって伝えられてきた「歴史・文化」などの「くまもとの宝」を守り、磨き上げ、未来に継承していくとともに、後世に残り得る優れた建造物を造り質の高い生活環境を

熊本県知事 ^{かば} ^{しま} 浦島 ^{いく} ^お 郁夫



創造する「くまもとアートポリス」など新しい文化を創造していくことに力を注いでいます。

特に、100万人の水道水源となっている熊本都市圏の地下水については、「地下水は、県民のかけがえのない財産、いわば公共水である」という認識に立って水量確保と水質保全に取り組んでいます。また、赤牛の放牧や野焼きの実施など人と自然の千年の営みにより作り上げられた阿蘇の草原を維持、再生する取り組みも強化しています。

3. 新幹線くまもと創り・新幹線元年戦略

熊本県では、九州新幹線全線開業効果を交流、定住、雇用につなげるため、「交通体系の整備」「交流の促進」「農林水産業・商工業の振興」「住みやすい熊本の実現」の4つの分野で、「新幹線くまもと創り」に取り組んできました。

このうち、陸の玄関口となるJR熊本駅とその周辺地区の整備では、「品格あるくまもと」の象徴となるよう、建築界のノーベル賞とも呼ばれるプリツカー賞を受賞された、世界的建築家である安藤忠雄氏と西沢立衛氏に、在来線熊本駅舎と東口駅前広場の設計をそれぞれお願いしました。この事業は「くまもとアートポリス」の一環でもあり、完成の暁には、建築界の聖地になるのではないかと期待しています。

また、全線開業の平成23年を「新幹線元年」と位置づけ、来訪者や県民など周りの人を“わくわく、ドキドキ”させる「くまもとサプライズ」をスローガンに、PRキャラクター「くまモン」の知名度も生かしながら、県外、特に新たに日帰り

圏となる関西・中国地方や首都圏をターゲットに熊本を「知ってもらい」、「来て楽しんでもらい」、「また来ていただける」よう県民総参加で取り組んでいます。



「くまもとサプライズ」のロゴマークとPRキャラクターの「くまモン」

新幹線での来訪者の方々に「おもてなしの心」を感じていただくとともに、新幹線沿線を美しく品格ある景観とするため、線路沿いの田畑を菜の花やひまわりなどで美しい田園風景にする「イエロープロジェクト」や、新幹線沿線の屋外広告物規制にも取り組んでいます。

4. おわりに

九州新幹線全線開業から半年が経ち、この秋には、熊本城で開催される「秋のくまもお城まつり」や、灯りの祭典「みずあかり」など県内各地で多彩なイベントが予定されています。

今後とも、熊本を訪れた方々に、熊本の多彩な魅力を体感し、心ゆくまで楽しんで感動していただけるよう、さまざまなイベントや仕掛けでおもてなしいたしますので、是非、夢にあふれる熊本にお越しください。